

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	渡辺 勉
	全体計画			経費区分	-	内線	3416
事務事業名	4170 松くい虫防除対策事業						
所 属	150100 産業振興部・農林課						
施 策	05012200 森林の多面的機能の維持保全と共生						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費					
	事業	020000 松くい虫防除対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
松林に甚大な被害を与えるマツノザイセンチュウの媒介であるマツノマダラカミキリの発生防止のため、薬剤散布及び被害木の早期駆除を行う。				赤松は臥竜山などの積悪な土壌にも育成し、土砂の流出防止、崩壊防止等山林の保全に重要な役割を果たしている。被害防止の充実に図ることにより、市民の憩いの場として自然環境を後世に伝えられる。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
被害木伐倒駆除事業 756m ³ 881本 地上薬剤散布事業 18.36ha	被害木伐倒駆除事業 480m ³ 480本 地上薬剤散布事業 18.36ha
平成29年度 実績	平成30年度 予定
松くい虫被害木伐倒駆除事業 495.28m ³ 678本 地上薬剤散布事業 18.36ha	松くい虫被害木伐倒駆除事業 470m ³ 600本 地上薬剤散布事業 18.36ha
平成31年度 予定	平成32年度 予定
松くい虫被害木伐倒駆除事業 580m ³ 750本 地上薬剤散布事業 18.36ha	松くい虫被害木伐倒駆除事業 580m ³ 750本 地上薬剤散布事業 18.36ha

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		19,649	19,726
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	9,463	11,161
	地方債	0	0
	その他	4,380	0
一般財源		5,806	8,565
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,429.8	1,429.8
	嘱託職員	553.2	553.2
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,983.0	1,983.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		21,632.0	21,709.0

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	16,985	松くい虫薬剤地上散布 被害木伐倒駆除16,985
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,664	嘱託職員報酬2,294、共済費370

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	17,000	松くい虫薬剤地上散布 被害木伐倒駆除17,000
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	20	松くい虫防除事業補助金（文化財等）20
その他	2,706	報酬2,334、共済費372

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	個人・団体の所有ではあるが、森林のもたらす公益的機能の面からも、私たちみんなの財産と考えることで予算を投入し、松くい虫による被害拡大防止を図っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	被害が顕著な箇所から順次、国庫補助事業の導入を図り、被害木の伐倒くん蒸を進めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国からの予算が厳しい折、補助事業を活用し被害拡大防止に努めているが、全国市長会及び県市長会を通じて予算の増額を要望している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

松くい虫被害に対しては、国の予算厳しい折、保安林や景観上重要な地域を「守るべき松林」に指定し、松くい虫の繁殖源の除去を優先的に実施しており、とりわけ被害が顕著な地域から順次、国庫補助事業の導入を図り、被害拡大防止に努めている。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
より早期に伐倒駆除できるよう努める。i	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
松くい虫の被害予防と駆除により健全な松林の育成に努める。なお、一層の被害予防のため、早期に伐倒駆除ができるように進め方を改善する。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント